

2025年度 活動報告・2026年度 活動計画

展示委員会

2026年 6月

委員長
浅野 博史

展示委員会の概要

■ 委員会構成

- 業務担当理事 : 川原 芳博 (富士フイルムメディカル)
- 委員長 : 浅野 博史 (島津製作所)
- 副委員長 : 四方 康 (コニカミノルタ)
- 委員
 - 傳法 昌幸 (根本杏林堂)
 - 勝谷 拓実 (シーメンスヘルスケア)
 - 森 修倫 (富士フイルムメディカル)
 - 田辺 良子 (富士フイルムメディカル)
 - 枝廣 紀子 (GEヘルスケア)
 - 田村 桂子 (GEヘルスケア)
 - 小椋 淳 (キヤノンメディカルシステムズ)
 - 櫻井 嘉人 (キヤノンメディカルシステムズ)
 - 俣野 公志 (ネットカムシステムズ)
 - 小柳 諭 (三田屋製作所)
 - 福田 紀子 (フィリップスジャパン)

展示委員会の概要

■ 役割と基本方針

- ① 展示委員会は、JIRAの中核事業である展示事業の計画を立案し、事務局と協力して円滑な展示会運営を推進する。
- ② 画像医療システム産業を取り巻く外部環境の変化に対応し、業界の発展に寄与する魅力ある展示会を企画する。
- ③ 学会開催がリアル（対面）重視へ回帰する中、近年の経験を活かしてリアル展示の特性を最大限に引き出す。
出展社・来場者の双方が参加しやすく、より有益な場となるよう、展示会を進化・成熟させていく。

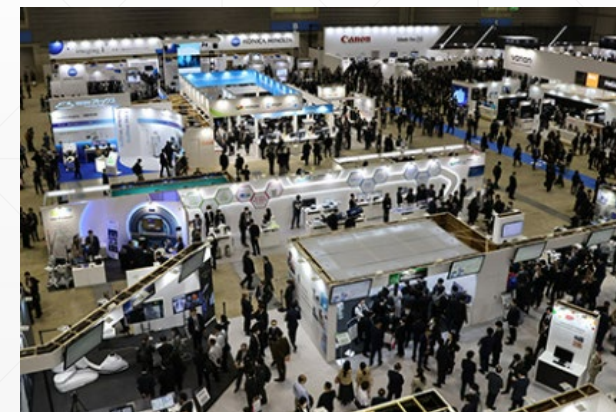
2025年度 活動報告

■ 2025国際医用画像総合展（ITEM 2025）

- ・ パシフィコ横浜展示：2025年4月11日～13日、WEBサイト：2025年3月14日～5月15日
- ・ 開催実績：出展社 152社 / 会場来場者数 18,357名 / WEBサイト登録者数 12,639名

<総括>

- ・ 「Accelerate the appeal of real exhibits -リアル展示の魅力を加速-」をコンセプトに設定。ITシステムの強化等によりリアル展示を充実させ、WEBサイトは会場への誘導および利便性向上ツールとして機能させた。
- ・ JIRAステージではテーマを「AI」と「DX」に設定、専門性を深めたことで前年を上回る参加者を得た。また、日曜日に一部演題を再演する「Sunday Reruns」を実施し、最終日の会場活性化に寄与した。

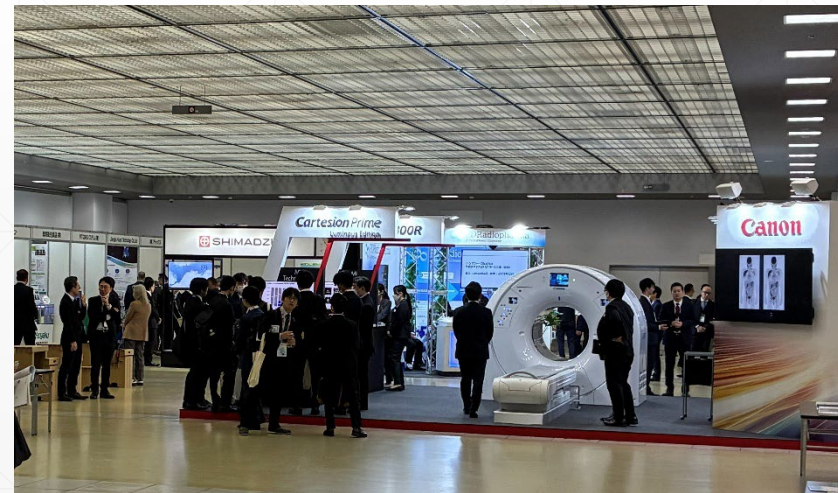


2025年度 活動報告

- 第65回日本核医学会学術総会／第45回日本核医学技術学会総会学術大会 併設展示会
 - 会期：2025年11月13日（木）～15日（土） 会場：京都市勧業館「みやこめっせ」
 - 出展社 32社／学会登録者 2,450名（うち現地参加 2,230名）

＜総括＞

- 京都開催ということもあり、学会登録者の90%以上が現地参加され盛会。
- 展示会場も学会登録所と同一エリアに設定され、どのブースも多くの方でにぎわっていた。
- 出展社からも効果的であったと高い評価を得られた。



2026年度 活動計画

国際医用画像総合展(ITEM)、日本核医学会学術総会併設展示会において、出展社と来場者が参加し易く、ともに有効な展示会を目指す

<施策>

- 来場者と出展社のつながりを高める企画を実施するため、これまでの実績で好評だったもの、有効だったものは継続する
有効性はあるものの十分な効果につなげていないものは、課題を明確にして見直しを図る
- 情報デジタル化を進めている中、現状の情報プラットフォームを改善し、更なる利便性向上を図ることで、出展社の作業容易化をさらに進める
- 展示会参加者の利便性を高める企画を実施する
- コンプライアンスの徹底、薬機法及び個人情報保護法、展示要項を順守した展示会にする
- 大企業から中小企業の出展各社が、公平且つ効果のある参加が出来るように努める

■ ITEM2026

- ・ 2026年4月17日(金)～19日(日)
- ・ パシフィコ横浜展示ホール

■ 第66回日本核医学会学術総会

- 第46回日本核医学技術学会総会学術大会 併設展示会
- ・ 2026年11月19日(木)～21日(土)
- ・ アクリエひめじ(姫路市)

ご清聴
ありがとう
ございました



一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association